

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和2年5月8日 ～ 令和3年3月12日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 《委託研究Ⅵ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学要件・時期に関すること ・ 見学や体験入学などの在り方について ・ 教育課程・指導上の工夫に関すること ・ 生徒一人一人の状況に応じた学習指導の充実について
調査研究のねらい	<p>川崎市立西中原中学校夜間学級は、外国籍や既卒者による入学希望者の増加が予測されることから、入学前の見学や体験入学などの在り方についても十分に検討し、多様な教育機会を提供することができるよう、夜間学級と教育委員会がより連携を図ることが重要であると考えます。</p> <p>川崎市立西中原中学校夜間学級には、フィリピン、中国、ネパール、韓国、タイ、スリランカ、チリ等の国籍を持つ生徒が在籍している。</p> <p>また、60代以上の高齢者も在籍している。そのため、英語、算数・数学や国語等の基礎的・基本的な学習能力の相違が大きく、生徒に個々に応じた指導が必要であり、そのための教材のあり方について研究し生徒の学力の向上を図りたい。</p> <p>また、文化祭などの学校行事を通して、人との関わりや日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、日本文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとしたい。</p>
調査研究の成果	<p>外国籍や既卒者による入学希望者が年々増加している傾向が見られ、入学希望者に対しては入学前の見学や体験入学など、一人一人丁寧に対応する必要がある。入学希望者に事前相談や面談で学習状況等を聴き取り、入学前の体験入学を必ず行うようにし、個々の状況に応じた入学後のカリキュラム編成等について夜間学級と教育委員会と一緒に検討、協議し、多様な教育機会を図ることができた。</p> <p>英語の学習については、日常会話に困らない生徒もいる一方、アルファベットから始める生徒もいる。アルファベットに関しては、小学生用のドリルや自作の教材を使って指導にあたるなど工夫し、英語の授業では生徒に楽しさを感じさせることで学習に対する意欲も増してきている。上級者に対しては、日本の英語学習に対応できるような教材を使うことが必要である。</p> <p>国語については日本語初級の生徒が多く、ひらがなや日常会話</p>

からスタートしなければならないため、国語の教科書では授業ができない。日本語教材テキストを用いて日本語を勉強したり、小学校の漢字を勉強したりしている。また、日本語指導講師の授業を継続して受けることで学習意欲も向上している。

今年度はコロナ禍により教育活動が制限される中、体育祭や文化祭などの学校行事を通して、人との関わりや学び合い等を工夫することができた。

日本および外国の音楽に対する理解を深めることをねらいとし、民族音楽を取り入れた専門家による文化教室を実施した。特に外国籍の生徒には、異文化に触れる機会となり、日々の学習意欲の向上にもつながった。多くの生徒が好意的な内容の感想を残している。